

日本ビジネスデータセンタープロセッシングセンター社長

池 恵一さん



## 震災時の社員に感謝

### 近況

システム構築や医療事務を手がける日本ビジネスデータセンタープロセッシングセンター（神戸市中央区）。かつては同市兵庫区に5階建て本社があったが、阪神・淡路大震災で倒壊した。「1階の隙間から中に入り、顧客から預かった10万件分のデータ資料を3時間ほどかけて取り出した」と社長の池恵一さん（76）は振り返る。当時、受付や会計事務を担っていたポートアイランドの中央市民病院では「社員が泊まり込みで業務を続けてくれた」と感謝する。こうした記憶を語り継ぐと今年5月、当時を知る社員約30人を集め、「なつかし懇親会」を開いた。

危機を乗り越え、他の大規模病院や自治体業務の受託にも事業を拡大。売上高175億円（2024年8月期予想）、社員4571人の規模に成長した。「サービスの質を極め、この先も独自色を出し続ける存在に」と誓う。（高見雄樹）

神戸新聞 2024年8月21日 掲載  
神戸新聞社の許諾を得て掲載しています